

日本臨床検査医学会「パニック値」全国アンケート 2022 に回答された方へ

【研究課題】

臨床検査部門におけるパニック値に関する全国調査

【研究機関名および研究責任者】

自治医科大学地域医療学センター地域医療学部門 教授 小谷和彦

【共同研究機関】

順天堂大学大学院医学研究科臨床病態検査医学講座 教授 田部陽子

【研究目的】

日常の臨床検査、特に血液や尿検体検査の測定において、基準範囲から大きく外れて、場合によっては緊急対処を要する値（パニック値）が見られることがあります。パニック値に対しては、臨床検査部門が可及的速やかに検査依頼側に連絡するような対処が求められています。医療機関のパニック値に関する対処を含む運用の現況について明らかにすることは、医療の向上に役立ち得ると考えられます。

【研究方法】

2023年1月に、日本臨床検査医学会チーム医療委員会が実施したパニック値に関するアンケート調査の回答を利用して集計・分析の上で検討します。この研究は、自治医科大学医学系倫理審査委員会の承認を受け、自治医科大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。研究の資金は地域医療学部門講座費を用い、開示すべき利益相反はありません。

【研究に利用する情報】

2023年1月20日締めで、日本臨床検査医学会あるいは全国検査部長技師長会議に参加している病院宛に実施した臨床検査部門のパニック値に関するアンケート調査の回答を利用します。データは回答者個人を特定する情報を除いた状態に加工した上で取扱います。このため、研究の対象となることを望まない場合でも、対象から外すことはできませんのでご了承ください。解析は自治医科大学で行い、順天堂大学では結果の考察と結果公表の支援をします。情報は自治医科大学でのみ使用し、他施設へ提供することはありません。

なお、ご希望があれば、個人情報等の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画を閲覧できますので、末尾の問い合わせ先にご連絡ください。

【利用を開始する予定日】 2023年8月1日

【研究期間】 許可されてから2026年3月31日まで

【個人情報の取り扱い】

個人を特定する情報を含まない状態で解析しますので、個人が特定されることはありません。研究責任者がパスワードを設定したファイルにデータを記録し、磁気記録媒体に保存します。磁気記録媒体は鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。

【問い合わせ先】

研究責任者：自治医科大学 地域医療学センター 地域医療学部門 教授 小谷 和彦
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1 電話：0285-58-7394

苦情の窓口：自治医科大学附属病院 臨床研究センター管理部 電話：0285-58-8933